

令和元年度

市長と話そうタウンミーティング

— 未来へつなごうふじみ野市 —

平成22年度から実施しているタウンミーティングは、令和元年度までの10年間で計263回開催し、ご参加いただいた市民の皆さんの人数は、延べ9151人となりました。
 今回は令和元年6月から12月までに開催したタウンミーティングでいただいたご意見の中から一部をご紹介します。
 なお、今まで開催したタウンミーティングの議事録は、市ホームページでご覧いただけます。

図 広報広聴課 (TEL262・9003)



文化施設の整備

Q 新しい施設は、大井中央公民館と大井図書館を併せた複合施設にする計画とのことですが、現在の大井図書館がある場所はどうかですか。



A 現在の大井図書館の敷地は、駐車場とするなど検討しています。将来的には、大井総合支所周辺に駐車場を確保したいと考えています。
Q 大井中央公民館の工事中は、サークルなどの利用者はどこで活動すればいいのでしょうか。メンバーも高齢化しているのあまり遠くまでは行くことができません。

A 大井中央公民館の工事は令和3年4月頃から約2年半をかけて行う予定です。工事中は、大井中央公民館分館や上福岡西公民館、ゆめぼると、鶴ヶ岡コミュニティセンターなど近隣の公共施設の利用をご案内できるよう調整しています。

Q 公共施設は合併により集約されてきていると思いますが、大きな施設は新設や大規模修繕の費用のほか、その後の維持管理にかかるコストなどが相当かかると思います。これから中長期的にはどのように進めていくのでしょうか。

A 本市には同規模のホールが2つあり、それぞれ老朽化しています。そこで、大井中央公民館ホールを現在の約600席から2階席を合わせた約800席の大きなホールとし、勤労

福祉センターはコンパクトで使い勝手の良いホールとする計画です。

合併により、職員の人員費は13年前と比較すると年間で約15億円減少することができました。窓口業務を民間委託してコスト削減にも努めています。スポーツ施設・文化施設を今後とも維持していくため、老朽化した施設を再整備することで、かかる経費を少しでも削減したいと考えています。将来の人口減少を見据え、しっかりと進めていきたいと考えています。

Q 現在の大井図書館は、閲覧コーナーが10席ほどしかありません。新しい図書館は、もっとゆったりとした利用しやすい図書館にしてください。

A 今後、専門家の意見を伺い、デザインの設計を進めます。市民の皆さんに喜んで利用していただけるよう、図



防災行政無線

Q 現状と見直し、それに伴う市の対策を教えてください。

A 実施主体は三芳町ですが、フルインター化に向け交通安全対策を再度検討した結果、予定していた進入路の整備計画を変更し、令和3年度以降の完成を目指しています。

市としては、インターまでの道路の交通量が増えることが予想されますので、周辺道路の整備を計画しています。懸念されるのは大井中学校からJ A 共販センター前交差点までの道路で、特にJ A 共販センター前交差点は、右折レーンを増設して渋滞の緩和を図る予定です。歩道も狭いので、大井中学校からふじみ野高校までの区間は道路の拡幅も計画しています。

防災行政無線

Q 防災行政無線の放送が聞き取れませんが内容が分かりませんか。

A スピーカーを設置したときと比べて建物などの状況が変わったことや、雨・風などの天候により聞こえ方も変わっていきます。防災行政無線を補完するものとして、電話応答サービス(TEL256・8877)やふじみ野Fメールでも放送した内容を配信しています。(※QRコードから空メールを送信して登録できます。)



また、災害時はNHKやテレビ埼玉のデータ放送で文字による情報を表示しています。

空き家対策

Q 近所の空き家の屋根が台風で飛ばしてしまっています。今後、強風や地震などで倒れそうでも怖いのです。何か対策はないでしょうか。

A 市内の空き家は現在900戸ほどあり、同様の話は多くあります。建物があると土地の固定資産税が6分の1に軽減されるため、そのまま残しているケースがあるようです。空家等対策の推進に関する特別措置法による「特定空家等」に指定すれば、固定資産税の軽減対象から除外されます。ただし、指定条件など難

子育て環境の充実

Q 待機児童は、施設だけでなく保育士不足も原因のようです。若いお母さんたちが安心して働けるような子育て環境を作ってもらいたいです。

A 現在、市の待機児童数は減ってきています。保育士の処遇改善については、民間の保育所には補助金を交付しています。その補助金が有効活用されるよう、専門のコンサルティング業者のノウハウを活用し、改善指導など行っています。

大井総合支所前の桜通り

Q 桜が咲く時季はきれいでいいのですが、根上がりによる凸凹した歩道は、車いすでは移動しづらいです。車いすの人からすると、桜がきれいなことよりも、安全に移動できる方が良く感じます。

A 根上がりでつまづいてしまったり、葉が落ちる時季に雨どいが詰まったりして沿道の皆さんはご苦労されています。そのため、桜にはちよっと



書館としての機能を充実していきます。現状においても、施設の規模には限界がありますが、さらなる機能の充実に努めてまいります。

お出かけサポートタクシー

Q お出かけサポートタクシーは便利ですが、市内限定なのが残念です。せめて富士見市や三芳町まで行かれるようにできないでしょうか。

A 近隣の病院などに行きたいという要望が多いことから、タクシー事業者と協議をして、令和2年度から富士見市・三芳町まで拡大するよう計画をしています。

形ですが宅地側を剪定しています。地域の意見も割れていて、一方できれいな桜を保存するようというご意見もございます。今後の方針は市民の皆さんの意見をしっかりと聞いて対応していきたいと思えます。車いすの人に限らず、どなたでもつまづいてしまふ可能性があるので、徐々に対応していきたいと思えます。

タウンミーティング

Q 市長がタウンミーティングを開催する理由、思いを教えてください。

A 私は市議会議員のときに、地域のミニ集会で出た声からまちづくりについて考え、議会で発言をしていました。一歩身近な皆さんの声を直接聞くこと、そして、議会の内容を皆さんにお伝えしていくこと、これが一番大事であると考えていました。それは市長となった今も変わりません。市民の皆さんは道路、公園、図書館、公民館などの公共施設は、市役所のもと考えている人が多いと思えます。しかし、造るときのお金も維持していくお金もすべて皆さんの税金が使われています。まさに公共施設は市民の皆さんの財産です。そうした皆さんの財産をどのように使っていくのかを一緒に考えていきたいと思っています。タウンミーティングは皆さんの声を直接聞く、大事な機会と考えています。